



1-8 環境基準及び指針値が設定されていない6物質の経年推移

2013年度から2022年度までの全地点平均値について経年推移を示した。

酸化エチレン：2014年度にピークがあり、その後は減少傾向にある。

ベンゾ[a]ピレン：年度によるばらつきは大きいですが、全体的にはやや低下傾向にある。

ホルムアルデヒド：年度によるばらつきはあるが、全体的には横ばい傾向を示した。

